
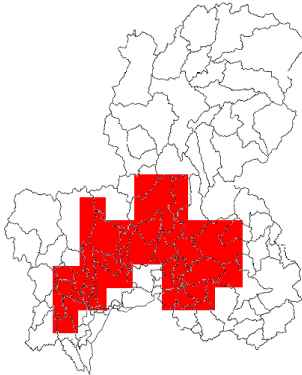


| | | |
|----------|---|--|
| タカサゴキジノオ | <i>Plagiogyria adnata</i> (Blume) Bedd. | 絶滅危惧Ⅱ類 |
| | | キジノオシダ科 |
| 選定理由 | 岐阜県では生育地、個体数共に少なく存続の基盤が脆弱である。 | <p>写真(荻山恒弘)</p>  |
| 形態の特徴 | 常緑性のシダ植物。根茎は短く葉を叢生する。上部の羽片は次第に短くなり頂羽片ははっきりしない。下部の羽片も上側が中軸に流れてつく。葉柄上部の断面は背面が扁平になる。 | |
| 生態的特徴 | 山地の沢筋の林下に生育している。 |  |
| 分布状況 | 県南に点々と分布している。 | |
| 減少要因 | 生育地の林下の光条件の悪化が主な要因と思われる。 | |
| 保全対策 | 生育地の森林の適度な管理と林道等の整備の際には配慮が必要である。 | |
| 特記事項 | キジノオシダとの雑種のアイキジノオも見られる。 | |
| 参考文献 | 岩槻邦男. 1992. 日本の野生植物. シダ. P. 75. 平凡社. 東京. 倉田悟・中池敏之(編). 1979. 日本のシダ植物図鑑. 1. P.348-354. 東京大学出版会. 東京. | |

文責: 荻山恒弘